

LIFE に連携する栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング（居宅版）の作成方法

LIFE に連携する栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングを作成します。

栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング → 《アセスメント》〈栄養ケア〉

※小規模多機能、看護小規模多機能版の場合は支援モードの《アセスメント》に〈栄養ケア〉画面があります。

〈栄養ケア〉は[スクリーニング・アセスメント・モニタリング]画面と[栄養ケア計画書]画面をボタンで切り替えます。

The screenshot shows the LIFE system interface. At the top, there are navigation tabs: 科学的介護情報, 標準アセスメント, 興味関心チェック, 生活機能チェック, ADL維持, 栄養ケア (highlighted), 口腔機能向上, LIFE提出管理. Below this is a patient information section with fields for 氏名 (山田 太郎), 性別 (男性), 年齢 (87歳), 認定有効期間 (平成26年12月02日～令和05年12月31日), 申請区分 (認定済(継続)), and 担当 (管理者 一郎). There are buttons for 新規, 保存, 印刷, and 削除. Below the patient info is a tabbed interface with two tabs: スクリーニング・アセスメント・モニタリング (selected and highlighted with a red box) and 栄養ケア計画書. The main area contains a table with the following headers: 実施日, プロセス, 低栄養状態のリスクレベル, 身長, 体重, BMI, 3%以上の体重減少, 血清アルブミン値, 褥瘡, 栄養補給法. At the bottom, there are input fields for 実施日 (令和 03年09月18日), アプローチ, 記入者名 (管理者 一郎), 職種, and 低栄養状態のリスクレベル.

■栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングを作成します

- ①スクリーニング・アセスメント・モニタリング画面右上 [新規]をクリックして作成します。
プロセスの選択肢でスクリーニング・アセスメント・モニタリングが選択できます。
[新規]をクリックせずに入力すると上書き保存になるので、ご注意ください。

This screenshot is similar to the previous one but shows a dropdown menu open in the 'アプローチ' field. The dropdown menu has three options: スクリーニング・アセスメント・モニタリング (highlighted with a red box), アセスメント, and モニタリング. The rest of the interface is the same as in the previous screenshot.

- ②スクリーニング・アセスメント・モニタリングの項目を入力します。自由入力欄は入力する文字数、印刷する文字数、LIFE へ送信する文字数がそれぞれ異なります。
例えば、「利用者・家族の意向」は画面の入力文字数に制限はありませんが、印刷は 72 文字、

LIFEへ連携する内容は200文字です。印刷出力したい内容、LIFEへ連携する内容は始めに入力してください。

※LIFE連携項目上限文字数は項目によって異なります。別紙「栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング（居宅版）の入力文字数」をご参照ください。

※帳票は、画面の表示枠にスクロールせずに見えている内容を印刷します。

食事生活状況等①タブの「嚥下調整食の必要性」が「有」の場合は、「食事の形態 (コード)」と「とろみ」が入力できます。「嚥下調整食の必要性が「無」の場合は、「食事の形態 (コード)」は「常食」でLIFE連携用CSVファイルが出力されます。

嚥下調整食の必要性	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有
食事の形態 (コード)	<input type="text"/>
とろみ	<input type="radio"/> 薄い <input type="radio"/> 中間 <input type="radio"/> 濃い

嚥下調整食の必要性	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有
食事の形態 (コード)	0j_嚥下訓練食品0j
とろみ	<input type="radio"/> 薄い <input checked="" type="radio"/> 中間 <input type="radio"/> 濃い

項目	値	単位	値	単位
必要栄養量: エネルギー・たんぱく質 (相対値)	kcal (g)	g/Kg	kcal (g)	g/Kg
嚥下調整食の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	
食事の形態 (コード)	(コード: 常食)		(コード: 0j_嚥下訓練食品0j)	
とろみ	<input type="checkbox"/> 薄い <input type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 濃い		<input type="checkbox"/> 薄い <input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 濃い	

- ③スクリーニング後のアセスメント作成や、2回目以降の作成は、新規をクリックして新規作成もしくは複写して作成します。ファーストケアの被保険者証画面と同じように内容を確認する実施日行をクリックすると、詳細を下部に表示します。

実施日	プロセス	低栄養状態のリスクレベル	身長	体重	BMI	3%以上の体重減少	血清アルブミン値	褥瘡	栄養補給
令和03年08月01日	1.スクリーニング		150.0	38.0	16.88	2.0kg/3ヶ月 4.0%	無	無	リスク：-- 2.中
令和03年05月01日	1.スクリーニング		150.0	40.1	17.82	3.0kg/3ヶ月 4.0%	無	無	リスク：-- 2.中

↓ 確認する行をクリックすると表示します

実施日 令和 03年05月01日 病名 スクリーニング 記入者名 管理者 一郎 職種 管理栄養士 低栄養状態のリスクレベル

要介護度・意向・家族構成等 低栄養状態のリスク 食生活状況等① 食生活状況等② 多職種による栄養ケアの課題 特記事項・総合評価・計画変更

身長	150 . 0 cm	血清アルブミン値	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 g/dl	リスク：--
体重	40 . 1 kg	褥瘡	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	リスク：--
BMI	17.82 kg/m ²	栄養補給法	<input type="radio"/> 経口のみ <input type="radio"/> 一部経口	リスク：中
3%以上の体重減少	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 1ヶ月 <input checked="" type="radio"/> 3ヶ月 <input type="radio"/> 6ヶ月	<input type="checkbox"/> 経腸栄養法 <input type="checkbox"/> 静脈栄養法		
	3 . 0 k g	その他	111	
	4 . 0 %			
	リスク：中			

自由入力欄は帳票出力の際、表示域に見えている内容を印刷します。

④栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリングの印刷

厚生労働省が提示した様式例は4回/枚のプロセスを出力していますが、文字の判読が困難なためファーストケアは2回/枚で出力します。[印刷]ボタンクリック後に表示される印刷設定ダイアログで出力する実施日の期間が設定できます。複数実施記録を印刷した場合でも上部の「要介護度」「病名・特記事項等」「記入者名」「作成年月日」「利用者 家族の意向」「食事の準備状況」「家族構成とキーパーソン」は最新のスクリーニング・アセスメント・モニタリングの内容を出力します。

印刷設定 栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング

選択された利用者： 山田 太郎

記入者名 管理者 一郎

作成年月日 令和 03年03月16日

印刷対象 令和03年05月01日 ~ 令和03年08月01日
(実施日)

印刷時の事業所名称 140000015 ファーストケア通所介護

印刷時の部数 1部

次へ(プレビュー)
キャンセル

■栄養ケア計画書（栄養ケア・経口移行・経口維持計画書）を作成します

令和3年9月28日時点で「栄養ケア計画書」はLIFE連携の対象情報ではありません。

①栄養ケア計画書画面右上 [新規]をクリックし、新規作成入力ダイアログを開きます。

②栄養ケア計画書の各項目を入力します。

自由入力欄は入力する文字数、印刷する文字数に制限はありません。

短期目標と栄養ケア提供経過記録は複数登録が可能です。あらかじめ表示されている空白行で足りない場合は、[行追加]をクリックして空白行を追加します。

短期目標

分類	短期目標と期間	栄養ケアの具体的内容	担当者	頻度	期間
①栄養補給・食事	食事を全量摂取し、体重・血糖の安定を図る	・エネルギーコントロール1600Kcalを提供する。 （主食：ごはん、副食：普通、セロリ・納豆代替） ・食事摂取量を観察、記録する。 ・体重を測定し観察、記録する。		毎食 毎食	R03.07 .01~ R03.09 .30

栄養ケア提供経過記録

記録日時	報告者	サービス提供項目
令和 03年07月13日 10:00	栄養 もとこ	食事は全量摂取され、「肉も魚も食べるが、食べられないのはセロリと納豆だけ。」と話す
令和 03年07月20日 10:30	栄養 もとこ	3日間排便がなく、緩下剤を服用する。
令和 03年07月31日 13:00	栄養 もとこ	体重測定 41.0Kg 変動なし。
年 月 日 :		

※栄養ケア提供経過記録は記録日時の昇順に表示します。帳票出力時に昇順/降順が選択できます。

■関連情報

厚生労働省が公開している下記資料は LIFE および LIFE 連携について、具体的に説明されています。項目の詳細等はこちらをご確認ください。

①栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、栄養ケア計画書各項目の評価方法は LIFE 画面[操作マニュアル等]に添付されている「LIFE 利活用の手引き」で説明されています。

<https://life.mhlw.go.jp/help>

②算定する加算等に関する基本的な考え方や算定要件は「介護保険最新情報 Vol.936 リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理及び口腔管理の実施に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」で説明されています。

<https://www.wam.go.jp/gyoseiShiryou-files/documents/2021/0317103852381/ksvol.936.pdf>